

ぼうさいくたい 2024 in 熊本での防災・減災ワークショップ ―東日本大震災・熊本地震・能登半島地震から南海トラフへ教訓をつなぐ (2024/10/19)

テーマ：防災教育，防災・減災スタンプラリー
会場：熊本城ホール
URL：<https://bosai-kokutai.jp/2024/w16/>

令和6（2024）年10月19日（土）・20日（日）に熊本城ホール等において「ぼうさいくたい 2024」が開催され，東北大学減災教育【結】プロジェクトとして，当研究所の地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門のメンバーが中心となってワークショップ形式で出展しました。

「ぼうさいくたい」とは，一般の方から自治体・企業・防災の専門家まで，子どもから大人まで，無料で参加できる日本最大級の防災イベントです。今年は第9回となり，「復興への希望を，熊本から全国へ～伝えるばい熊本！がんばるばい日本！～」という大会テーマで，大会の初日に「東日本大震災・熊本地震・能登半島地震から教訓をつなぐ～南海トラフへの自助・共助・公助のありがた」と題した90分のワークショップを実施しました（司会：内田典子助教（同寄附研究部門））。

このワークショップでは，保田真理プロジェクト講師（同寄附研究部門）が，宮城県内に留まらない各地の小中学校で行っている【結】プロジェクトの「ぼうさい授業」を，オリジナルの動画アニメーションを交えてデモンストレーションしました。これに加え，本学と連携協定を締結している東京海上日動火災保険株式会社の小川徳子氏が，同社でも実施している「ぼうさい授業」について熊本地震の教訓を入れ込んだ特別バージョンで紹介し，さらにシヤチハタ株式会社より提供いただいた3色のカラフルなピクトグラムを使用した「防災・減災スタンプラリー」を参加者に実施していただきました。

ワークショップの最後には今村文彦教授（津波工学研究分野）が登壇し，参加者からの質問に答える形で講話をし，今回のワークショップのように，主体的に身体を動かして参加する防災教育・啓発なども防災には重要になることを説明しました。

定員を超える63名もの方にご参加いただき，災害への備えになるよう防災グッズを紹介するクリアファイルや，当研究所の広報誌や記念グッズをお渡しし，盛況のうちに出展を終えました。



スタンプラリーの解説をする
保田プロジェクト講師



完成したスタンプラリーの台紙を参加者に
掲げていただいて記念撮影